

2006年度第3回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2006年(平成18年)10月4日(水) 15:30～16:15

場所：L-911

出席者：計 74名

欠席者：計 44名

配布資料：

A. 当日配布資料

1. 長期計画企画拡大会議構成員及び各検討専門委員会名簿(2006年10月1日現在)

B. スライド資料

1. 教育研究に関わる学生支援(奨学・奨励金)の新設・拡充[中間報告]
2. 上智大学創立100周年記念事業募金活動について

議 事

審議に先立ち、事務局より、配布資料の確認を行った。

1. 各委員会からの報告について

(1) 教育研究に関わる学生支援(奨学・奨励金)の新設・拡充[中間報告]

山岡学生総務担当副学長(フィジカル・プラン等検討専門第1委員会委員長)から、スライド資料に基づき、「教育研究に関わる学生支援(奨学・奨励金)の新設・拡充」についての中間報告があった。

(1) 極めて優秀な学生の獲得と支援

- 成績人物がともに優秀な学生を入学させるための奨学金制度の新設
 - ※成績人物がともに優秀である学生を入学させ、本学の理念を体現できるよう教育する。
 - ※意欲のある学生に大学として支援し、その学生が社会で活躍することで上智大学をアピールできる

(2) 海外留学(特に一般留学)を志す意欲ある学生の支援

- 国際交流推進のための新たな制度
- 交換留学の機会が得られなかった意欲のある学生の支援
 - ※その他の企画(優秀な外国人留学生、卒業後帰国し母国で活躍の場を求める留学生、帰国後起業を志す留学生の支援等)も順次検討に入る。

(3) 大学院生ら若手研究者の育成

- 国際的競争力を持つ有能な研究者を育成
- 研究テーマが本学の理念によく合致し、文化と人類の進歩に寄与できる研究者の支援

(4) 法科大学院学生の支援

- 将来、日本や世界の法曹界で活躍できる学生の育成
- 法曹界において本学の理念をよく体現する可能性の高い学生の支援
- 司法試験合格を目指す学生への支援
 - ※フランススコ・スアレス奨学金の拡充(本学法科大学院を第一志望として受験し、合格した者の中で、極めて成績優秀な者に対して、研究科の推薦により、入学年度のみ授業料相当額を支給)

(5) 従来からの経済的支援の拡充

- 従来から実施している制度を一層拡充
- 入学時の経済的困窮度や、在学中の家計急変等による経済的負担の軽減をはかり、学生が安心して学べる環境を整備
- 地方から進学してきた学生への支援の充実

《質疑応答》

- Q. 法科大学院学生向けの奨学金が単独に取り上げられているが、なぜ法科大学院の学生だけを特別に支援するのか。他の大学院生の奨学金も同じように重要と考えるが。
- A. 他の大学院生については、「(3) 大学院生ら若手研究者の育成」の項で触れている。法科大学院向けの奨学金を充実するのは、(a)法科大学院は専門職大学院であること、(b)今後法曹界で活躍するであろう人材を、上智大学の法科大学院の理想を体現する者として支援する必要があること、また、(c)国も法科大学院を重視しており、国の施策に歩調を合わせる必要があること、などがその理由である。(山岡学生総務担当副学長)

(2) 上智大学創立100周年記念事業募金活動について

小瀬垣財務担当理事(財政計画等検討専門委員会委員長)から、スライド資料に基づき、「上智大学創立100周年記念事業募金活動」について報告があった。

また、個人10万円以上、法人50万円以上並びに団体10万円以上の寄付をいただいた方のご芳名を銘板に記載する準備を進めているが、現在、寄付者ご本人にご芳名の確認をしているところであると報告が併せてあった。

◎新募金趣意書について

創立100周年記念事業計画(大学・短大・社専)について、現在までの進捗状況と今後の展開を見通して、下記の通り改訂中

I. 学部・大学院 教育研究体制の充実 →「個性が際立つ教育・研究の進展(“上智の精神の発揚”)

- “人間の尊厳”を基盤とした全人教育の展開
- “研究力”の向上と大学院教育への反映
- “個”を意識した教育指導
- 国際交流の拠点形成
- 語学教育の先進性、卓越性:“上智モデル”の確立
- 地域・社会との連携“生涯学習ネットワーク”の形成
- 社会福祉への更なる貢献

II. 奨学基金の設立 →「奨学支援の拡充と基金の新設」

- 極めて優秀な学生への奨学金制度の新設(学部)
- 国際水準の研究者育成のための奨学金制度の新設(大学院)
- 国際交流推進奨学金制度の新設
- 短期大学・社会福祉専門学校における奨学金制度の拡充
- 従来からの経済的支援(第2種奨学金)の拡充

III. 四谷キャンパス再興計画 →「キャンパス再興計画の実現」

- 新校舎棟:新6号館の建設
- 新理工学部棟等の建設
- 新体育館の建設とグリーンゾーンの拡充

- 市谷キャンパスの再利用計画の策定
- 秦野キャンパスの整備充実
- 社会福祉専門学校のIT環境整備

◎当面の活動予定

- 第2回100周年記念事業募金委員会(総会)の開催(10月31日)
- 第4回募金幹事会(10月31日)
- 募金依頼(2006年度)の送付予定について
- 寄付者銘板(第1回)の作成

《質疑応答》

- Q. 創立100周年記念事業のロゴにも使われている聖フランシスコ・ザビエルの像は、現在市谷キャンパスに置かれているが、募金活動の刺激になるよう四谷キャンパスに移設してはどうか。
- A. そのような意見をもっと出してほしい。それらの意見をもとに、関係会議体で検討してもらうようにする(高祖理事長)
- Q. クレジットカードによる寄付金の受け付けは、他大学ではすでに始めているところもある。現状を調査し、早急に対応してほしい。また、初期投資にかかる費用の内訳は何か。
- A. クレジットカードによる寄付金受け付けは、現在検討を進めているところである。なお、初期投資として、クレジット決済における個人情報やカード情報の管理を行うための設定等についての費用がかかる。(桐ヶ谷財務局長)

2. 次回会議について

次回会議は、2006年11月29日(水)の大学評議会終了後(午後4時頃)より、L-911において行うこととする。なお、詳細は追って通知する。

以上